【　参　　考　】

令和７年度　９人制ルールの取り扱いについて

①　サーブは２本。主審のサービス許可のホイッスルの後，８秒以内でサーブを打たなければならない。ネットインは，サーブの失敗。ラリー中に隣のコートからボールが転がるなどしてダブル・ファウル（ノーカウント）になった場合は，中断したときのサーバーの中断したときのサービス（第１または第２サービス）で再開する。

②　サーブを打つときに，選手がコートの外に出ていてもよい。
（アウト・オブ・ポジションの反則はない。）

③　ブロックした人が続けて次のボールをさわってもよいが，回数はブロックで１，次のプレーで２となる。

④　ネットを使ってプレーした場合は，最大限４回までプレーすることができる。
ただし，同一競技者が続けて３回プレーしたときは，ドリブルの反則となる。

⑤　ネットを越えて相手コートのボールに触れた場合は，オーバーネットの反則となる。
相手コートに手が出ていた場合でも，ボールを触らなければ反則ではない。
（毎年，とても多い反則です。意識して，出さないようにしましょう。）

⑥　サーブをブロックしたり，アタックしたりしてもよい。

⑦　各セットが終了したら，必ずコートチェンジをする。
尚，本大会は１セット１５点制なので，３セット目はどちらかのチームが８点先取したときにも，コートチェンジをする。
決勝トーナメントについても，予選リンクと同様とする。

⑧　セット終了ポイントのサーブを打ったチームと逆のチームから次のセットのサーブを開始する。

⑨　以下のような場合も，アウトになる。
・　アンテナにボールが当たる。
・　アンテナ上，またはアンテナ外をボールが通過する。
・　アンテナよりも外のネット・ロープ・白帯，支柱にボールが当たる。

⑩　インプレー中，選手がネットおよびアンテナに触れたときは，タッチネットの反則とする。ただし，アンテナ外側のネット，およびボールをプレーする一連の動作中でないときに触れても相手チームの選手のプレーを妨害しない限り反則としない。

⑪　選手交代は，１セットに６回まで要求することができる。ただし，同じ中断中に連続して要求することはできない。同じチームによる２つの別々の選手交代の間には，ラリーの終了がなければならない。

⑫　先発選手は，１セットにつき１回だけ交代してコートを離れることができる。また，１セットにつき１回だけ自らの交代選手と交代してコートに戻ることができる。

【ローカルルール】
①　オーバーハンドパスは，原則としてドリブルをとらない。